

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・駅から近いため通所がしやすく、一人の登下校に挑戦することができている。

B業務改善

- ・情報の発信の強化・開かれた教室運営を目的としてお便りの作成、配布に加え、ホームページ等を作成している。
- ・教室全体で確認できるようなマニュアルを掲示し、必要に応じて配布をしている。

C適切な支援の提供

- ・職員間で情報を共有し、全職員で支援の方向性を確認している。活動後は振り返りを行い、次の支援に繋げている。

D関係機関との連携

- ・戸塚協議会に参加をしている
- ・保護者のニーズに応じて、学校開放日等の学校行事に参加をしている。

E保護者への説明責任・信頼関係

- ・活動報告に加え、送迎時に活動の報告、連絡事項の共有を行っている。
- ・運営規程等は、入会時に説明をし、文書を渡している。

E非常対応

- ・面談時に身体拘束に関する内容を説明し、同意書に署名捺印をいただいている。
- ・年に二回避難訓練を実施している。

A環境面

- ・教室内はバリアフリー化がなされているが、事業所自体のビルが4階に位置しており、エレベーターがない点はバリアフリーとは言い難い。

B児童への支援内容

- ・学校や放課後に友達と交流する機会があるため、放デイでは障害のない子どもとの活動機会はあまり必要性を感じない。
- ・同じことをしていることが多い。
- ・たまに外遊びをしてほしい。
- ・繰り返すことで習得するタイプの子が多いので多少の固定化は仕方ない。

C事業所からの情報発信

- ・勉強会のようなものが年に2回ほどあっても良い。

D非常対応

- ・階段が1か所しかないため、避難経路がわからない。
- ・非常口がわからない。

E満足度

- ・意欲的に学習に取り組むことができている。
- ・同世代の子が少なく交流が持てない
- ・長期休み、土曜日など開所時間を長くしてほしい。
- ・学習以外のフリースペースがあると嬉しい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・事業所がビル4階であることはバリアフリーとは言い難い。
- ・学習において様々なアプローチをすることで意欲的に取り組むことができている。

【相違点】

- ・お便りでお知らせするも、マニュアルの周知において「どちらともいえない」という評価が多くあった。
- ・現状実施していない療育の提案、提供、外遊びを入れてほしいという意見があった。
- ・避難訓練を実施しているが、避難経路がわからない、非常口がわからないといったご意見があった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・駅から近く、送迎が行いやすい。また、電車やバスを使って区外からも利用していただいている。
- ・活動記録の他に送迎時にも保護者とコミュニケーションを取ることで、子どもたちの支援につなげることができる。

事業所の改善点

- ・おたよりでお知らせするも災害、感染症マニュアル等が周知しきれていない。
- ・プログラムの固定化は多少あるが、その中でも季節に合わせた工作等を取り入れ、活動に変化をつける。

事業所の改善への取り組み

- ・災害、感染症マニュアル等を書面にしてお渡しをする。また、避難訓練時にも災害マニュアルを組み入れ、周知につなげる。
- ・様々な療育・遊びを提案、提供していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度よりもより多くの方にご利用いただけるようになり、大変うれしく思います。しかし、プログラムの固定化ではどちらともいえないというご意見を多くいただき、保護者様、お子様が満足していただけるよう再度、職員間で支援内容の検討をしていきたいと思っております。

今後も安心して通っていただけるよう、改善・検討を重ね、よりよい教室作りに努めて参りたいと思っております。

事業所名 オレンジスクール東戸塚教室

担当者 杉本 真紀

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール 東戸塚教室

保護者数（児童数）： 38（42） 回収数：34 割合：89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	1	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	4	0	・職員の人数、専門性の案内がないため、適切であるかわかりません。 ・活動時の様子を拝見していないためわかりません。	・職員の紹介は、入会時にさせていただいておりましたがにゆかい時期によっては説明が不十分でした。お便り等でお知らせしていきたいと思います。活動中の人員配置や様子のご見学につきましては可能な限り対応させていただきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	17	12	・4階まで階段です。 ・バリアフリーが必要な子どもが通所していないので必要とは思いません。	・事業所自体が4階にあるということでご不便をおかけしております。申し訳ございません。送迎をビルの入り口にするなど、なるべくご負担がないようにさせていただきます。
適切な 支援 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	30	2	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	22	12	1	・繰り返し行うことで習得するタイプの子が多いので多少固定化は仕方ないと思います。 ・同じことをしていることが多いです。 ・たまに外遊びや、公共交通機関を使つての外出があると嬉しいです。	・新しい活動内容など、HP等で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。活動の種類につきましては、様々な選択肢をご提供できるよう検討を行ってまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 7	8	不必要 17	・現状のままでいいと思います。 ・学校や放課後に定型の子と一緒に遊んでいるのでいいです。 ・学習支援をメインで考えています。	・交流の機会につきましては、事業所の態勢、ご家族、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討していきます。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	1	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	3	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	7	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 6	8	不必要 21	・必要と思う方が多ければ、開催してもいいと思います。 ・勉強会のようなものが年2回くらいあってもいいと思います。	・現時点で開催の予定はございませんが、事業所としてどのようにアプローチできるか検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	11	0	・苦情を言ったことがないためわかりません。（複数回答）	・苦情受付については、入口右手に掲示しております。ぜひご確認ください。またお子様、ご家族から苦情があった際は真摯に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	3	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	2	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	2	0		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	10	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	2	1	・非常口がわかりません。 ・階段が一か所なので、階下で火災があった際心配です。	・引き続き、すべての利用児童が避難訓練に参加できるよう、日時を調整していきます。また、避難方法につきましては、避難訓練時にお知らせしていきます。 ・万が一の場合、ベランダからも避難ができるよう避難器具を設置しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	26	3	0	・中学生があまりいないので交流がもてません。 ・意欲的に学習に取り組むことができている助かっています。	・なるべく同世代と関わりが持てるようご利用曜日のご提案をさせていただきます。 ・お子様が学習に向かうことができるよう引き続き工夫を取り入れていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	1	0	・長期休みや土日など開所時間を長くしてもらえると嬉しいです。 ・学習以外の用途でフリーでいられるスペースがあると良いと思います。	・長期休み等、ご利用時間に関しましては、お子様のご様子を考慮した上で出来る限り対応させていただきます。 ・遊ぶ時間が重なった場合は、机や椅子を動かすなどスペースが確保できるように検討していきます。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所内はバリアフリー化されています。	事業所が4階にある点につきましては、ご不便をおかけしております。送迎をビルの入り口にするなど、ご相談に応じて少しでもご利用しやすい方法を引き続き実施してまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所のスタッフ間で目標の設定、確認、その他振り返りなど適宜ミーティングを行っています。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			お便りの回数を増やすなど、より開放的な事業所を目指してきました。引き続き、業務の改善に取り組んでまいります。	今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール東戸塚教室のHPにて公開しております。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、実施しておりません。	現在は、事業所・ご家庭の二者評価です。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に職員研修を行っております。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動報告、ご連絡等を踏まえ、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所職員全体で行っています。	今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			お子様の特性、課題に応じた内容を日々検討しています。	今後も継続していきます。
	⑬	平口、休口、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス提供前に、当日の動きを職員間で確認・共有しています。	今後も継続していきます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後、職員間で情報の共有を行っています。	今後も継続していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回活動記録を記入しています。それをもとに次回以降の支援の方法を検討しています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回を目安に実施し、その際に個別支援計画も作成しています。お子様の状況に応じてモニタリング以外の面談も実施しています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参画しています。また必要に応じて担当指導員も参画するようにしています。	今後も継続していきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		ご家庭、お子様を通して情報共有を行っています。また、当事業所では送迎を実施しておりません。	必要に応じて、学校との直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療職員を配置していないため、ご利用については事前に主治医、保護者様とご相談させていただいています。	今後も継続していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当のお子様がいりません。ご家庭を通して支援計画等の情報を提供させていただいています。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当のお子様がいりません。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研究会や見学会に参加し、日々の支援に繋げています。	今後も継続していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在、実施しておりません。	ご利用時間の関係で、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。可能性については随時検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			戸塚協議会に定期的に参加しております。	今後、参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用後、その日の活動報告をさせていただいています。また、ご家庭からのご相談もメール、LINE等をご活用いただいています。	今後も継続していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現在、実施しておりません。	面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。ペアレントトレーニングについては今後検討していきたいと思っております。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際にご説明しています。また教室内にも掲示をしています。	今後も継続していきます。

保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談・モニタリングの際にお話しをさせていただいています。	今後面談以外にも、いつでもご相談いただけるような雰囲気や態勢を整えていきます。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、実施しておりません。	現在は実施に至っておりません。保護者様のご要望等を踏まえ、今後検討していきたいと思えます。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示をしています。	今後も継続していきます。苦情をいただいた際は、社内フローに従って迅速かつ適切に対応をします。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログ、お便りにて活動の様子を報告しています。	今後も継続していきます。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管をしています。また、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	今後も徹底していきます。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様の特性に合わせた情報伝達手段を使用するよう、職員一同心がけています。	今後も継続していきます。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、実施しておりません。	ご家庭のニーズに合わせて検討していきます。
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内でそれぞれのマニュアルを策定しスタッフ間で共有しています。また、事業所内に掲示、お便りにてお知らせをしています。	今後も継続していきます。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		夏と春の長期休暇中に訓練を実施しています。すべてのお子様にご参加いただいています。	今後も継続していきます。
	㉙	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内でマニュアルを作成し、研修を行っています。	今後も継続していきます。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約の際に身体拘束に関する事項をご説明し、書類にご署名をいただいています。	身体拘束が起きた際は活動記録に記載するようになっています。身体拘束が発生しないような支援に留意していきます。
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事、おやつ提供は実施していません。	今後も実施の予定はありません。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットを毎日作成し、スタッフ間で共有を行っています。同様の事象が発生しないよう迅速に対応します。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。